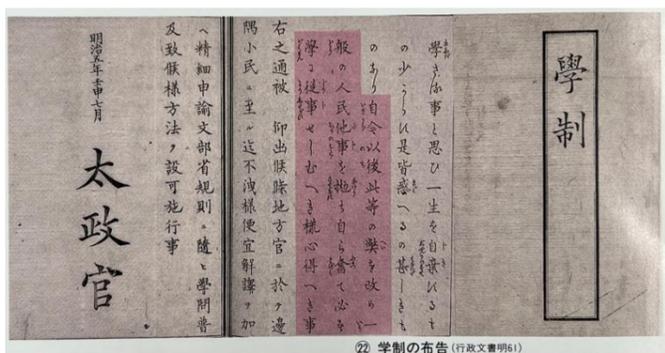


1 主に使用する収蔵資料（拡大すると文字を読むことができます）

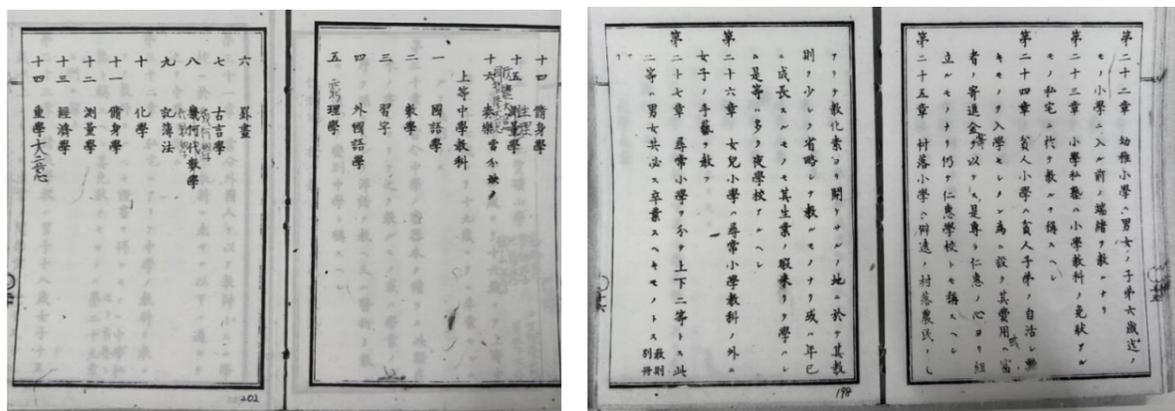
明61-2 中央令達 太政官布告（学制）



② 学制の布告（行政文書明61）

左は学制の布告で、下段は条文の一部です。条文には、入学要件や履修科目の他に、教員の資格、進級試験について触れられています。

文字のくずれが少ないので、児童生徒に一部を読み取らせることも可能です。自分たちと比較して、当時の学校の様子を調べさせることができます。



埼玉資料室23 活版御布達



左は短髪奨励を伝える県令（現在の知事）からの文書です。教科書では廃刀令とともに断髪令が出たことは記されていますが、実際はすぐに浸透したわけではありませんでした。そこで政府は、短髪の健康上の利点などをアピールし、奨励しました。

文明開化の風潮で西洋の生活様式が取り入れられましたが、すぐに移行したわけではないことがわかる資料です。

2 指導例

(1) 本時のねらい

- 明治維新の頃の人々のくらしの変化について、文書館収蔵の資料と学芸員の専門的な話をもとに調べ、埼玉県内外の変化の概要を理解する。

(2) 展開

学習活動・学習内容	○指導上の留意点	資料等
1 本時のめあてを知る。		

明治維新で人々の生活はどのように変わったのだろう

2 埼玉県の人々の生活の変化について文書館の収蔵資料から調べ、ノートに整理する。



- 資料をタブレット上で見られるようにする。
- 調べ活動中は、教師は調べる視点を伝え、学芸員は文書の内容について解説する。
- 読み取りのときに、質問がある児童は、教師や学芸員に手がかりを聞く。

- ・断髪に関する布告文（埼玉資料室23、県史3294）
- ・学制（明61の1-2）、府県知事ニ於テ小学校令ニヨリ規定スヘキ事項（明1885）
- ・日本鉄道株式会社敷設ニ関スル書類（明1729）、（明3368）、鉄道時刻表（鈴木（庸）家 9401）、

3 埼玉県の人々の生活の変化について、話し合う。

- ・江戸時代から大きく変わって、今のくらしに近づいた。
- ・西洋の文化や技術を取り入れている。

- 教師が児童の発言を整理してまとめる。学芸員は資料の中で生活の変化に触れているところについて解説する。

4 西洋のものや考え方を取り入れる「文明開化」の風潮が、埼玉県を含む、国内各地に広まったことを確かめる。

5 本時のまとめと振り返りを行う。

明治維新で、西洋の考え方や生活の仕方、技術が次々と取り入れられ、埼玉県を含む日本の各地に広まった。

- ・授業を振り返り、アンケートに記入すること。
- 6 文書館について知る。
- ・文書館の紹介を聞くこと。

- 記入漏れがないよう、アンケート項目を簡単に確認する。
- 文書館の役割や子供向けイベントを簡潔に説明する。

- ・文書館紹介スライド

3 児童の感想

- ・今回の授業で1番驚いたことが二つありました。一つ目は明治時代にもう算数とか音楽に似たものがあるということです。二つ目は昔の資料があんなにもたくさんきれいに残っていたことです。たのしい授業ありがとうございました。
- ・明治時代の学校で、今と似ている習字や算数、社会の歴史などの授業があつて驚きました。学習しないといけないことは、昔と今とあまり変わらないんだなと思いました。

4 担当より

- ・本指導例は、小学校学習指導要領社会科6年の内容（2）ア（ケ）・イ（ア）を受けたものです。文明開化の風潮が広まり、人々が西洋風の生活様式を取り入れていったことについて、児童が当館の収蔵資料を調べることを中心としたものになっています。
- ・本指導例では、様々な生活の変化のうち、鉄道、教育、頭髪や帯刀について扱いました。他にも明治期の郵便や改暦などの資料、廃藩置県がありますので、変更や追加も可能です。